

■ 教育目的

5年次の「地域医療コース」実習において修得した知識、技能、態度の総復習を行う。コース実習中に感じた「地域医療の問題点」を再考し、その問題点に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識、技能、態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」実習の課題として各学生が作成した「研究レポート」を輪読し、今後の地域医療、薬局業務等にどのように活かせるのかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。【卒業認定・学位授与の方針：YD-⑤～⑥】

■ 学習到達目標

1. 地域医療の役割を説明できる。
2. 地域医療の問題点を挙げてできる。
3. 患者対応において問題点を発見できる。
4. 問題点に対して対応策を提案できる。
5. 各自の研究テーマに関してその目的を説明できる。
6. 地域医療における漢方の役割を理解する。
7. 海外における地域医療および薬剤師の役割を理解する。
8. 将来の地域医療の役割について考察する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：コース実習で得た知識・技能・態度を復習しておく。自分の研究を簡潔に発表できるようにまとめておく。（30分）

復習：地域薬局の問題点と展望をもう一度再考する。（30分）

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～15	実習後演習・講義	地域医療の問題点とその対応（1）（2） 薬局窓口における対応（1）（2） 研究レポート輪読 他コース等との合同講義	

■ 授業分担者

山崎 紀子（責任者）、下川 健一（副責任者）、中舘 和彦（副責任者）、飯田 克巳、石橋 芳雄、井上 元基、植沢 芳広、大西 優、菅野 敦之、岸田 敦、小関 珠美、斎坂 ゆかり、杉山 重夫、深水 啓朗、宮沢 伸介、山田 聖子、学外講師

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

授業（演習・講義）の出席 50%、演習態度およびレポート提出 50%にて評価する。